

化学物質と胆管がんとの 関連性を学ぶ！

ACTIVE KUMIAI

山梨県印刷工業組合



講師の(株)環境計量センター立川所長

招いた。このセミナーは、大阪市の印刷会社の元従業員が相次いで胆管がんを発症していることを受けて開催されたもので、当日は組合員、組合関連企業ら併せて20社の参加があり、関心の高さがうかがえた。

セミナーでは、インクを落とす洗浄剤に含まれている化学物質「ジクロロメタン」、「1、2ジクロロプロパン」と胆管がんとの因果関係や有機溶剤の取扱い方法について説明された。現在、これらの物質は動物実験で発がん性が認められているが、人に影響するという明確な調査結果は未だ出ていない。しかし、大阪市の印刷会社における胆管がんの発症率は非常に高く、それらの物質が原因とされる可能性もある。そのため、これら物質を含む有機溶剤を取扱う場合には、これらを体内に入れないようにすることに注意を払う必要がある。そのためには、吸入を防ぐための工場内の換気や皮膚からの浸入を防ぐための手袋の着用を徹底させることが重要である。

今回のセミナーを終えて佐野理事長は、「組合員や組合員企業の従業員の健康を守るためにも、今回のセミナーを活かし、組合として積極的に対策をとる必要がある」と述べ、その緊急性を強調していた。



真剣に講演を聞く組合員等